

南城市立大里中学校 南城市教育委員会

キーワード(「3軸・6視点」等)

- ・同僚・管理職との良好な人間関係の構築
- ・長時間勤務の改善

「私たちのピース・リスト2023」との関連

- No.17 ICTを活用した効率的・効果的な職員研修の推進
- ・適切な開催時期の設定、ICTを活用した校内研修の工夫

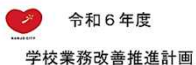
令和6年度 大里中学校 校内研修④

- 趣旨 教職員のウェルビーイングについて理解し、その向上に努める機会とする。
- 日時 令和6年5月1日(水) 15:15~16:15
- 場所 南城市立大里中学校(新世代室)
- 対象 大里中学校教職員
- 講師 南城市教育委員会 教育部 統括指導主事
「学校業務改善について」



【働き方改革推進との関連】

南城市が目指す学校業務改善の方向である「子供としっかり向き合い、質の高い授業、教育活動ができる働き方に改善していく」イメージを揃え、学校における働き方改革を進めることにより、生徒たちの学びの質の向上につなげる。



教職員がのびのびと健康で自らの資質を高め、児童生徒と向き合う時間を確保し、教育活動をさらに充実させるために



南城市教育委員会

◆ 今回の研修会の特徴

- ・教職員が新年度の学校や生徒の様子をある程度把握できた時期に開催
- ・管理職と事務職員で企画して講師を招聘し、市教委との連携・協働体制を構築
- ・市教育委員会が目指す学校業務改善やその支援等について全職員で共通理解
- ・研修時間60分、講義だけでなく対話や交流も含めた内容
- ・研修後の感想等の集約はFormsを活用

◆ ポイント ☞ 教職員一人ひとりが自分事として考える場面の設定

☞ 一人ひとりが、これまでの業務を「減らす」視点・「減らせない」視点で振り返り、「must・can・will」で書き出しながら自分事として考える時間の確保。



教職員同士での交流場面の様子

管理職・教職員との良好な人間関係が伝わってくる交流場面でした。

“must・can・will”で業務を書き出し、自分事として考えていました。



業務を書き出す場面の様子

【参加者の感想】

- ・話をお聞きして、生きがいや働く意義などを改めて考えた次第です。ワーク&ライフ大切にしたいです。主体的、対話的で深い学びは生徒と反映して教師の姿であること、それは業務改善にも繋がることであると認識しました。
- ・働き方改革はただ、業務を時間短縮するためのコツではなく、人生をより良く生きるために教職の仕事と自分の生き方をどうクリエイトするのが私の挑戦だと思います。